



平成 31 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社エンプラス
代表者名 代表取締役兼社長執行役員 横田 大輔
(コード番号 6961 東証第一部)
問合せ先 取締役兼専務執行役員経営管理本部長
酒井 崇
(TEL. 03-6268-0259)

特別損失および営業外費用の計上 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期において、特別損失および営業外費用の計上を行うこととなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 31 年 3 月 25 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失および営業外費用の計上について

(1) 個別決算

実質価額が取得原価から著しく下落した当社保有の関係会社株式および投資有価証券について、回復可能性があるとは認められないことから、減損処理を実施し、関係会社株式評価損 764 百万円と投資有価証券評価損 298 百万円を特別損失に計上いたします。

(2) 連結決算

実質価額が取得原価から著しく下落した当社および当社連結子会社保有の投資有価証券について、回復可能性があるとは認められないことから、減損処理を実施し、投資有価証券評価損として 1,116 百万円を特別損失に計上いたします。

また、持分法関連会社に関する関係会社株式について、持分法による投資損失 119 百万円を営業外費用に計上いたします。

2. 平成 31 年 3 月期通期 連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 31,000	百万円 1,800	百万円 2,000	百万円 1,500	円銭 117.23
今回発表予想（B）	31,000	1,730	1,870	340	26.67
増減額（B－A）	0	△70	△130	△1,160	
増減率（％）	0.0	△3.9	△6.5	△77.3	
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期 通期）	33,288	4,368	3,846	2,536	198.26

3. 業績予想修正の理由

上記 1 項により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はともに減少する見込みとなりました。また、直近の業績動向より営業利益についても減少する見込みとなりました。なお、期末配当予想に変更はなく、平成 31 年 3 月 25 日の公表通り 1 株当たり 15.0 円の配当を予想しております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上